

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す 。

き ら き ら 通 信

冬号
2020.1月

議会報告

Shall we 投票？

豆知識

群馬県バスロケーションシステム実証実験を
実施しています！

総合計画に関する特別委員会に
所属しました！

総合計画の策定に関する
外部有識者ヒアリング

総合計画に関する特別委員会・県外調査

リベラル群馬の知事要望

群馬県議会議員 リベラル群馬

ご挨拶 2020年冬

2020年の始まりは、天気にもまれた爽やかな朝となりました。

皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。たくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらから年賀状を出せないのが残念です。

昨年を振り返ると、平成から令和へと時代が変わり、ラグビーワールドカップ日本代表の活躍など明るい話題があった一方、台風や豪雨などの自然災害が相次ぎ、経済の面では消費増税、働き方改革、景気動向の不透明感が増すなど、混沌とした一年でもありました。さらには、AIの進展や自動運転技術などが毎日のように報道され、新しい技術の実用化に向けた動きが大きく加速した年であったと思います。

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。群馬県内に目を向ければ、3月にハッパグムが完成、4月には高崎競馬場跡地のコンベンション施設・Gメッセ群馬、県庁の動画スタジオも完成します。変化の激しい時代に、私たちはどういう道を進んでいけばいいのか。災害に強い群馬県、そして誰もが安心して暮らしていける地域社会をつくるために、今こそ未来について話し合い、一人ひとりが自分にできることを始めることが重要です。2020年も多くの人と手をつなぎあって、希望を描き、未来を作りたいと思います。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和元年第3回後期定例会が、11月26日(火)から12月16日(月)までの会期で開催されました。

台風19号により被災した道路や河川、農業用施設や学校施設などの普及事業や災害見舞金の支給、CSF(豚コレラ)対策などを含む275億1283万円の追加補正予算のほか、群馬県世界遺産センターの設置及び管理に関する条例など計31の議案を可決しました。

ビジョン(群馬県が目指す将来像)検討の参考とするため、令和2年3月31日(火)まで県民アンケートを実施しています。是非、みなさんのご意見をお寄せください。

[トップページ](#) > [県政情報](#) > [政策・財政・監査](#) > [\(群馬県の計画\)](#) > [新・総合計画のビジョン検討のための県民アンケート](#)

2月2日告示・2月9日投開票の日程で、前橋市長選挙&市議補欠選挙が実施されます。

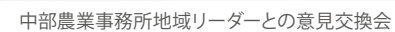
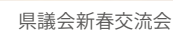
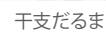
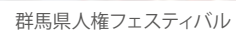
- 平成20年 2月17日執行 … **52.40%**
- 平成24年 2月19日執行 … **49.06%**
- 平成28年 2月14日執行 … **30.97%**
- 令和 2年 2月 9日執行 … **???**

投票率は民度の表れ。
未来を創るのは私たち一人ひとりです。
投票に行こう!!

「バスがいつ来るのかわからない…」そんな不安を解消し、バスの利用促進を図るため、県ではバスの現在位置や出発時刻がわかる「**バスロケーションシステム**」の導入を目指しています。そのための実証実験を、前橋赤十字病院関連路線で行っています。QRコードまたはURLよりアクセスすると、バスの出発時刻や遅延状況がわかります。ぜひご利用ください。



<https://gunma-buslocation.ekispert.jp/>



総合計画に関する特別委員会に 所属しました！

第3回定例会において、次期総合計画の策定に関する特別委員会が設置されました。県では、20年後を見据えた「長期ビジョン」と、今後重点的に取り組む具体的な政策を体系化した10年間の「基本計画」からなる、新たな総合計画を2020年10月ころまでに策定する予定です。この特別委員会では、次期総合計画について横断的・集中的に審査を行います。

総合計画に関する特別委員会・県外調査

2019.11.5～6

次期総合計画の策定に関する参考にするため、初日は、滋賀県庁にて、滋賀県基本構想とSDGsの視点の活用について調査しました。

滋賀県では今年4月に新たな総合計画【滋賀県基本構想】をスタートしており、この計画はSDGsの特徴を活かしながら、「変わる滋賀・続く幸せ」を基本理念とした12年計画となっています。

事業の効果だけではなくて持続可能性の観点から行政施策を見直していくことや、「2030年に向けてどんな滋賀になったらいいか」「持続可能な地域社会の実現に向けて自分は何をすべきか」を県民の皆さんと一緒に考えるワークショップを広く実施しているところが特徴的です。

- 豊かさとは何か、幸せとは何か。
 - 今の生活は持続可能か。
 - 誰かを犠牲にしていないか。

今だけ、モノだけ、自分だけではない『新しい豊かさ』を追求していく、そんな大事な視点をたくさん学ばせていただきます



総合計画の策定に関する 外部有識者ヒアリング

総合計画の策定にあたり、世界の潮流を踏まえた将来の群馬県の姿を描くため、全国的・国際的に活躍されている有識者からのヒアリングを実施しています。

- 第1回

デービッド・アトキンソン 氏 (株)小西美術工藝社)
- 第2回

武見 敬三 氏 (参議院議員)
- 第3回

マシ・オカ 氏 (デジタル視覚効果アーティスト、俳優)
- 第4回

三浦 瑠麗 氏 (国際政治学者)

した。群馬県では、20年後の2040年を見据えた県のビジョンと計画期間10年の基本計画を来年の10月までに策定する予定です。20年後の群馬はどんな姿になっているのか。1年と短い期間ですが、責任世代の一人として総合計画の策定にしっかり取り組んでいきます。

県外調査2日目は東京に戻り、内閣府より、次期地方版総合戦略の策定と地方分権改革についてお話を伺いました。

内閣府では平成26年から行政制度の分権型改善運動を展開しており、国が定めた制度が地方の実情に合わず支障が出ている場合に、それぞれの自治体が改善を提案できる提案募集制度を実施しています。

しかし制度の認知が低く、平成30年度現在、群馬県では、県と伊勢崎市のみしか利用していないとのこと(ちなみに大分県では県の主導で全ての市町村が手挙げ制度を利用しているそうです)。

地方創生で一番重要なのは、やはりそれぞれの地域にあった仕組みを作っていくことだと思います。

行政も県民もそれぞれが地域の課題に気づき変えていく力を育む、そんな群馬県にしていきたいですね。



リベラル群馬の知事要望

はじめに 山本県政に期待すること

これまで群馬県のウィークポイントと指摘されてきた知名度・ブランド力の低さを、山本知事持ち前の「発信力」で克服しようという姿勢に、私どもは期待を寄せています。

一方で県政の抱える重く厳しい課題に対しても腰を据えてトップの手腕を発揮していただくことも同時に期待します。

提言

1

動画スタジオは成果指標を明確に

動画スタジオについては、活用方法の中身に加え、1億を超える税金を投入する以上、成果についても厳しく注視していきます。成果指標も「ぐんまちゃん家」で用いられたパブリシティ効果や経済効果のような実感に乏しいものでなく、ブランド力ランキングなどの明確な指標にするよう求めます。

提言

2

真価が問われる県産品「ブランド化」

本県の懸案である県産品のブランド力強化は、情報の飽和した時代においては「発信」のみでは不十分であり、「品質」「差別化できる特性」といった要素が重要となります。

知事の政策集にある「開発と販売促進の連携」により、有望な農産品やぐんまシルクなどのブランド力強化に手腕を発揮することを期待します。

提言

3

手腕の問われるGメッセ群馬

Gメッセ群馬については、計画に示されたように、黒字運営かつ既存施設を圧迫せず、かつ展示会や学会といった交流人口増・地元企業振興に資するイベントに特化するという極めて厳しい命題をクリアしなければなりません。誘致の強化に加え、内部の専門人材の育成に対してトップの手腕を発揮するよう注視していきます。また、くれぐれも誘致補助金のような愚策に手を染めることのないよう釘を刺し続ける所存です。

提言

4

総合計画は「脱総花」「脱成長」「脱競争」を

広範囲なSDGsの概念にとらわれ「総花的」にならぬよう注意を払いつつ、従来型の「成長」「競争(人口・企業の奪い合い)」から、環境・財政等の「持続可能性」を重視し、また多様性を認め合う「共生」を重視する方向性を示すよう求めます。



提言

5

「選ばれる」ために「生活者」として本気の共生を

知事の意気込みどおり、外国人から「選ばれる」県となるためには、「安価な労働力」としてではなく「共生」のパートナーとなれるよう本気で取り組む必要があると考えます。

生活相談、日本語教育、医療通訳などの体制を整備し、外国人を「生活者」として受け入れ、共生する先進的な群馬モデルを構築するよう提言します。

リベラル群馬重点施策① 持続可能な群馬づくり

急激な経済成長の代償として自然環境や山村の持続可能性が、そして、バブル後の経済対策のツケとして財政や社会保障の持続可能性が脅かされているという認識が、これまでの本県の政策に不足していたと私たちは考えます。

「成長」「活力」から「持続可能性」へと政策の重点をシフトすることを提言します。

提言

1

財政の持続可能性 ～財政健全化は慎重かつ強力に～

大澤県政時代に悪化の一途を辿った財政の再建には、最大会派を中心に強い抵抗が予想されることから、慎重かつ強力に進めるよう提言します。作成した中期財政見通しを契機に、異例の県債発行をした今年度予算からの健全化の道筋を示すことを提言します。

提言

2

山村地域の持続可能性 ～山村の価値を再構築～

企業局の発電が山村の営みに支えられていることに鑑み、「ぐんま未来創生基金」の用途を山村地域の持続可能性の確保に充てるよう提案します。移住促進策が充実する中、「選ばれる山村」を目指し、地域磨きや関係人口創出を県が積極支援するよう提言します。

また、循環型の森林経営や農業による地域循環型経済への転換を進めるよう提言します。

提言
3

環境の持続可能性 ～環境県をブランドに～

環境政策の強化はブランド力強化にも直結します。従来の「県民意識醸成」に代表される啓発主義から脱皮し、ゴミ減量化やリサイクル、建築物の省エネ化など、自治体が実行できる施策に対して県が指導的役割を発揮することを期待します。

また、放射能指定廃棄物やPCB、アスベストなど「高度成長の残渣」と言える課題に対しても、県民生活の安心安全を守る観点で適正な管理を求めます。

提言
4

社会保障の持続可能性 ～群馬モデルの構築を～

喫緊の課題として、医師・看護師の偏在解消、介護従事者の確保に知事の新たな発想で取り組むことを期待します。また、検討中の健康寿命延伸策については、単に予防医療的な施策にとどまらず、高齢者の活躍の場の創出を含めた「群馬モデル」を確立することを提言します。

リベラル群馬重点施策②

公共投資の未来志向的転換による産業政策

道路やハコモノに代表される「産業基盤型インフラ」が飛躍的に整備されてきたにもかかわらず、平成以降、製造業における事業所数、従事者数は右肩下がりを続け、県税収入も横ばいであるという現実を直視し、思い切った公共投資の転換を提言します。

提言
1

既存ストックを「磨き」「守る」公共事業へ転換

厳しい財政の中で公共事業を持続可能にするためには、新規ストックの増加を抑制しつつ、既存ストックの改良により県民の満足度を高める工夫が必要です。道路の交差点・歩道の改良など、既存ストックを「磨く」事業、そして今後、台風等の自然災害が多発することから河川等の防災減災対策や橋梁等の長寿命化など、既存ストックを「守る」事業にウエイトを高めることを提言します。

また、これらの公共事業を増やすことで県内企業の元請受注の機会を増やし、地域循環型の地場企業振興策に繋げることも併せて提言します。

提言
2

ウォーカブル&コンパクトな交流と創造のまちづくりへ転換

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりは、マイカー依存に代わる質の高いライフスタイルを実現することに加え、人々の交流の促進からイノベーションが起き、都市の生産性・ブランド力を高める可能性を持つ「未来型公共投資」と位置づけるべきです。

「交通まちづくり戦略」を引き続き推進するとともに、総論賛成各論反対に陥りがちな土地利用規制のあり方等について、県の指導力を発揮するよう提言します。

提言
3

エネルギー転換への投資を産業政策の新たな軸に

エネルギー転換は3つの投資需要を創出する産業政策的視点がががあることから整理して提言します。

- ① 水素に代表される次世代エネルギー普及を推進し、新たな成長分野を開拓する。
- ② 小水力やバイオマス、ソーラーシェアリング等の再生可能エネルギーを推進し、かつ地元資本等が担うことにより、山村地域を中心に地域循環型・分散型の経済システムを確立する。
- ③ 県内企業の「省エネ投資」および、使用電力を100%再エネ化する「RE100」を推進し、新たな投資需要を創出する。

提言
4

「プロモーション」から「プログラム」づくりへ観光政策の転換を

スマホ等の普及により顧客がネット上から自分に合った情報を選択し、また観光地での体験をSNSで自ら情報発信できるようになり、DCに代表される一方通行型の「広報宣伝」が通用しない時代を迎えています。従来の「広報宣伝」や単発イベント頼みの政策から、時間をかけてでも地域資源から魅力ある体験プログラムを創る政策への転換を提言します。

リベラル群馬重点施策③

「人」中心の社会・経済づくり

提言
1

若者就職支援～売り手市場の今こそ企業との関係強化を～

群馬県のジョブカフェは相談から企業訪問による求人開拓、定着支援まで他県にない取り組みで高い実績を上げてきました。県内企業が人材を欲している今こそ、Gターン事業等を通じて企業ネットワークづくりを強化し、不況時に備えることを提言します。

提言
2

幸福度向上に資する働き方改革・働く女性応援を

ワークライフバランスの推進は、幸福度向上に不可欠の要素であり、県内企業の魅力度向上にも繋がります。広島県のように担当課を設置し、企業内の推進人材育成や女性のキャリアデザイン支援など質・量ともに充実している事例などを積極的に取り入れるとともに、テレワークなど、時間・場所にとらわれない多様な働き方の推進するよう提言します。

また、社会問題化している企業・役所への悪質クレームに

対する専門相談窓口設置や対応マニュアル作成支援を働き方改革の一貫として行うよう提言します。

提言
3

教育現場の実行ある働き方改革を

「勤務時間の上限に関するガイドライン」が実効ある教職員の多忙化解消に繋がるよう指導力を発揮するとともに、SC、SSWの配置拡充、スクールロイヤーの配置を進めるよう要望します。

提言
4

子どもの命と未来を守る群馬づくりを

深刻化する児童虐待へ対処するため、児童相談所の専門職員体制の強化および専門里親の育成支援など、専門人材の確保を求めます。また、子ども食堂や無料学習塾などの子どもの居場所作りの推進に、県が主導的な役割を果たすよう要望します。

提言
5

人づくりの拠点となる社会教育施設の充実を

天文台や昆虫の森などの社会教育施設は、大澤県政時代に運営費の大幅な削減をされ続け、本来の機能を発揮できていません。これら施設を人づくりの拠点として再生するよう提言します。

また、知の拠点である図書館についても、先進事例に倣い利用者増に向けた改革と資料購入費の拡充をセットで進めるよう提言します。

リベラル群馬重点施策④

弱者・マイノリティに優しい県政

「リベラル」の政治的意味は「多様性に寛容」であり、戦後の日本政治の気風でもありました。しかし、近年の日本政治から「寛容さ」が失われ、弱者・マイノリティの人々が生きづらさを感じる社会になりつつあることを私たちは危惧しています。

提言
1

障がい者に優しい県政を

障がい差別解消条例を推進するため、合理的配慮における県庁内の啓発および、不当な差別的取り扱いを無くすための相談体制と事業者等への指導監督の強化を要望します。

また、障がい者就労開拓支援事業や農福連携事業など、障がい者の活躍の場を広げる雇用施策を強化するよう要望します。

提言
2

貧困に真剣に向き合う県政を

「貧困」は、SDGsの1番目の目標でもあります。しかし本県は、生活困窮者自立支援制度の任意事業等の実施率が全国最低レベルとなっています。この状況を脱却するために、

県が主導的な役割を果たすよう要望します。

提言
3

同和問題 条例制定を見据え踏み込んだ施策推進を

本県においても部落差別は依然として根強く存在します。部落差別解消推進法に則り、相談体制の整備や教育・啓発を進めるとともに、結婚・就職に際する差別を防止するよう、事業者等に対する指導を強化する等の踏み込んだ施策を進めるよう提言します。

提言
4

社会的マイノリティに優しい県政を

性的少数者への理解醸成に努めるとともに、同性パートナーシップ制度の導入など、県が率先して人権を尊重する姿勢を見せるよう提言します。

また、古くから共生してきた在日コリアンの子ども達の教育権が、近年の国家間の問題等の影響により脅かされています。SDGsの「質の高い教育をみんなに」の観点から、群馬朝鮮初中級学校への補助金再開に向けた協議を進めるよう提言します。

提言
5

犯罪被害者支援条例の制定を視野に

犯罪被害は誰にでも起きうる問題であり、精神・身体上の問題から生活上の問題まで、必要な支援が多岐にわたることから、関係機関を超えたワンストップの対応が必要です。関係機関の支援に横軸を入れるためにも、知事の政策集のとおり条例化を視野に入れた対策を要望します。

提言
6

インクルーシブな防災、教育を

台風19号において、本県においても障がい者、高齢者、子ども、外国人など弱い立場の方々への避難所におけるバリアフリー等の課題が浮き彫りとなりました。また、教育現場においても障がい者等への合理的配慮は依然十分とは言えません。防災、教育等、公共のあらゆる場面でのインクルーシブの推進を要望します。



活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|---|
| 11月18日 犯罪被害者支援条例勉強会 | 12月17日 中部農業事務所地域リーダーとの意見交換会 |
| 11月19日 議会運営委員会、前橋JC次年度例会 | 12月18日 後援会女性会バスツアー |
| 11月20日 西毛広域幹線道路現地調査、弁護士会有志励ます会 | 12月19日 恵風会理事会、前橋東ロータリークラブ・クリスマス例会 |
| 11月21日 連合前橋地協定期総会 | 12月21日 宇宙少年団前橋分団例会 |
| 11月22日 群馬県社会福祉大会、バイオマス活用協議会セミナー、ぐんまフランス祭り2019 | 12月22日 西箱田町餅つき大会 |
| 11月23日 女性のための市政参画講座 | 12月28日～30日 消防団歳末特別警戒激励 |
| 11月24日 三森市議市政報告会、JC群馬ブロック全体会議 | 1月 1日 各町互礼会 |
| 11月25日 ぐんま女性議員政策会議(知事要望・研修会) | 1月 5日 やまびこハイキング新年会 |
| 11月26日 議会運営委員会、本会議 | 1月 6日 総合計画に関する外部有識者ヒアリング(マシ・オカ氏) |
| 11月27日 総合計画に関する外部有識者ヒアリング(デービッド・アトキンソン氏) | 1月 7日 前橋商工会議所新年互礼会、公職選挙法勉強会 |
| 11月28日 前橋白門会定期総会 | 1月 8日 群馬県議会新春交流会、上毛新聞社賀詞交歓会 |
| 11月29日 一般質問、議会運営委員会 | 1月 9日 前橋初市まつり |
| 11月30日 スマイルキッズショッパーズ | 1月11日 前橋市消防出初式 |
| 12月 2日 一般質問 | 1月12日 各町どんと焼き、前橋市成人式 |
| 12月 4日 一般質問 | 1月13日 各町どんと焼き |
| 12月 5日 リベラル群馬議員団会議、セミナー「地域が稼ぐ観光」(大羽昭二氏) | 1月15日 連合群馬労使共同セミナー、前橋市長選挙公開討論会(新前橋商工会主催) |
| 12月 6日 厚生文化常任委員会、農政懇談会 | 1月17日 群馬県危機管理フェア、東部商工会議所新年互礼会、総合計画に関する外部有識者ヒアリング(三浦瑠麗氏) |
| 12月 7日 インクルーシブ防災勉強会 | 1月18日 前箱田町長寿会新年会 |
| 12月 8日 群馬県人権フェスティバル | 1月19日 男女共同参画セミナー『なくそう女性ゼロ議会、増やそう女性議員』 |
| 12月 9日 厚生文化常任委員会、連合議員懇幹事会 | 1月21日 厚生文化常任委員会DET研修、前橋JC一月例会・賀詞交歓会 |
| 12月10日 前橋JC通常総会 | 1月23日 前橋地協新年の集い |
| 12月12日 総合計画に関する特別委員会、群馬県倫理法人会女性委員会クリスマスパーティー | 1月26日 前箱田町新春座談会 |
| 12月13日 議会運営委員会、リベラル群馬議員団会議 | 1月27日～28日 全国女性都道府県議会議員の会・総会研修会 |
| 12月14日 前橋地協女性セミナー | 1月28日 前橋市長選挙公開討論会(前橋JC主催) |
| 12月15日 前橋JC卒業例会 | 1月29日 厚生文化常任委員会月一常任委員会(さきたま資料館、熊谷ラグビー場) |
| 12月16日 本会議、リベラル群馬・知事要望、連合議員懇幹事会 | |



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



ぐんま女性議員 政策会議の知事要望

投稿日: 2019年11月25日

県内の超党派の女性議員で組織する「ぐんま女性議員政策会議」で、来年度予算に向けた要望書を知事に提出しました。
女性の視点から、教育・福祉・男女共同参画、群馬の喫緊の課題など23項目に絞った要望です。
山本知事からは「どの項目も県民生活に密着した具体的な提言として、しっかり受け止めたい」という前向きな言葉とともに、「新しい総合計画を策定するための懇談会のメンバーも、男女の割合が半々になるように選出した」という事例を紹介しながら、女性の活躍に対するエールもいただきました。
ぐんま女性議員政策会議も4月の改選で新しいメンバーがかなり増えたとし、女性のパワーでさらに活動を広げていきたいと思っています♪



スマイルキッズ ショッパーズ

投稿日: 2019年11月30日

子どもたちの職業体験プログラム「スマイルキッズショッパーズ」、前橋まちなか編では150人の子供たちが、36のブースに分かれて仕事の体験をしました。
私は政治家ブースを担当。政治の役割や政治が身の回りの生活のどんなところに関係しているのかを子どもたちと一緒に考えた後、学校がもっと楽しくなる政策を提案してもらいました。
最初は「難しそう」「大変そう」というイメージを持っていた子どもから「色んなところに政治が関係していることがわかった」「学校の給食も市議会で決めていることを初めて知った」などの感想をいただき、少しでも政治を身近に感じてもらえたらいいな、と思います。
参加してくれた子ども達には、
①世の中には沢山の仕事があること、②その仕事をしている人たちのおかげでみんなの暮らしが成り立っていること、③会場まで連れてきてくれたお父さんお母さんに感謝すること、を忘れずに、これからも色んなことにチャレンジしてもらいたいです♪



サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、
群馬弁護士会へ登録。
2011年・群馬県議会議員(初当選)。
現在3期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

